

講演「だんじり誕生の記憶を求めて ～石川流域の地車と河内ニワカ～」

摂河泉、瀬戸内の祭に広がる地車。そのモデルは江戸時代に淀川を往来した豪華絢爛の川御座船で、俄（にわか）と呼ばれる滑稽寸劇を披露するための移動式芸能舞台として生み出されました。南河内の石川流域に展開する地車は富田林の寺内町とも関連のあった新堂村の木工によって作られたといわれています。『日本だんじり文化論』（創元社）の著者による解説で、南河内から地車のルーツを紐解きます。



山本陽介氏が手掛けた川面町(美具久留御魂神社/富田林市)の地車

2021年11月7日(日)

午後1時30分～3時30分

会場 じないまち交流館

参加費 1000円

定員 20名

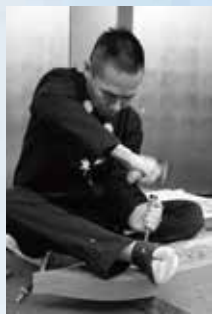
10月15日午前10時より

予約受付開始 0721-26-0110



森田玲(もりたあきら): 玲月流初代・篠笛奏者・大阪芸術大学非常勤講師

昭和51年大阪生まれ、京都市在住。篠笛と祭文化に造詣が深く、神脈(かみにぎわい)を切り口に独自の視点で祭の構造を読み解く。令和3年6月刊行の『日本だんじり文化論』(創元社)では、地車のルーツを明らかにするとともに、各地に多様に展開する地車の魅力を描き出す。京都大学農学部森林科学科卒業、(株)篠笛文化研究社代表、大阪芸術大学非常勤講師。第七回「なにわ大賞特別賞」受賞、第六十七回「文化庁芸術祭 新人賞」受賞、「京都市芸術文化特別奨励者」認定。



ゲスト 山本陽介: 彫刻師 (「彫陽」代表)

大阪府富田林市出身。幼少期より地車の装飾である彫刻に魅了され、18歳で岸和田市の筒井師、岸田師に師事。平成22年に独立し「彫陽」を設立。大阪府下をはじめ各地の地車や太鼓台などの彫刻を数多く手掛ける。現在、令和3年完成予定の狭山の地車(大阪狭山市)、令和7年完成予定の森町(貝塚市)の地車を製作中。

ご参加される方へお願い

- ・マスクの着用をお願いいたします。
- ・体調が優れない場合は、ご無理なさらず参加はご遠慮下さい。

イベント開催にあたって

- ・開催にあたっては、参加者同士の距離は確保し、換気を徹底いたします。
- ・皆様に安心してご参加頂けるよう準備いたします。

◆ 問合せ先

じないまち交流館

[所在地] 富田林市富田林町9-29
[TEL] 0721-26-0110 [FAX] 0721-26-7271

◆ 開館時間

- ・午前10時から午後5時まで

◆ 休館日

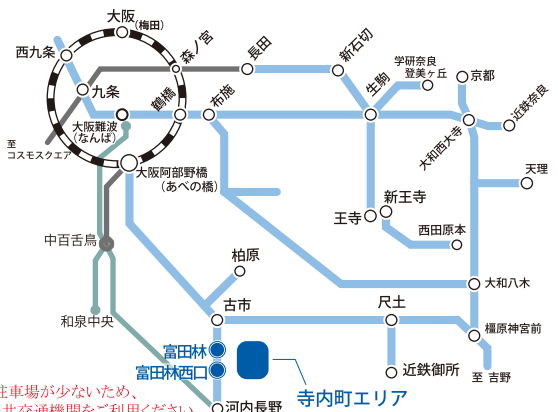
- ・月曜(月曜が休日にあたる場合はその翌日)
- ・12月29日から翌年の1月3日まで

◆ Twitter・Instagram じないまち通信 @4jinai_machi

◆ ウェブサイト <http://www.jinaimachi.jp>

◆ 管理運営 富田林寺内町4施設 指定管理者 株式会社アスウェル

◆ アクセス 近畿日本鉄道長野線 富田林駅又は富田林西口駅下車 徒歩7分



※近辺には、駐車場が少ないため、電車等の公共交通機関をご利用ください。河内長野 寺内町エリア